

# 平成 31 年お茶づくり技術情報 (No.5)

2019 年 (平成 31 年) 4 月 11 日  
佐賀県茶業技術協会  
佐賀県茶業試験場

## 1. 生育状況

表 1 作況調査園の芽長と開葉数 (試験場内作況調査ほ場)

| 調査日        |     | 4 月 5 日     |             | 4 月 10 日 |  |
|------------|-----|-------------|-------------|----------|--|
| 芽長<br>(cm) | 本 年 | 1.28 ± 0.34 | 2.82 ± 0.61 |          |  |
|            | 前 年 | 2.25 ± 0.57 | 4.28 ± 0.95 |          |  |
| 開葉数<br>(枚) | 本 年 | 0.45 ± 0.32 | 1.38 ± 0.45 |          |  |
|            | 前 年 | 1.04 ± 0.38 | 1.51 ± 0.38 |          |  |

注) 品種 : やぶきた (18 年生)

- 1) 2019 年 3 月 28 日に茶業試験場内の作況調査園 (定点調査園) において一番茶の萌芽を確認した (前年 (3 月 30 日) よりも 2 日早い萌芽)。
- 2) 本日 (4 月 10 日) 時点での生育状況は、芽長は前年より短く、開葉数は前年とほぼ同等、開葉する速さは前年よりも早くなっている (表 1、写真 1・2)。
- 3) 4 月 8 ~ 10 日に降雨 (合計 41.0mm) があったことから、今後の芽の動きは活発になると考えられる。



写真 1 作況調査園の生育状況  
(4/10 撮影)

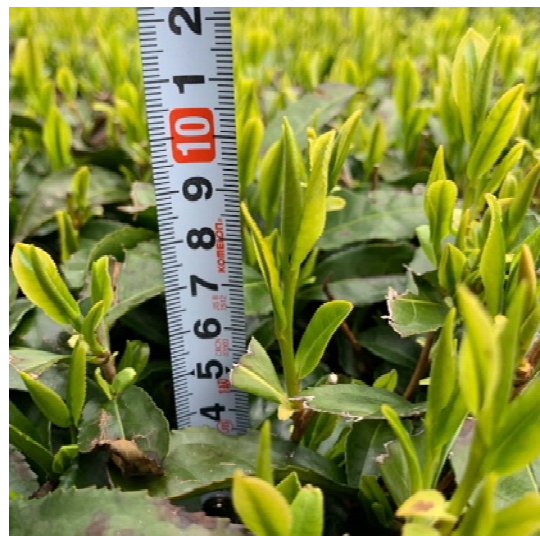


写真 2 作況調査園の新芽の生育状況  
(4/10 撮影)

## 2. 気象状況等

### 1) 気象

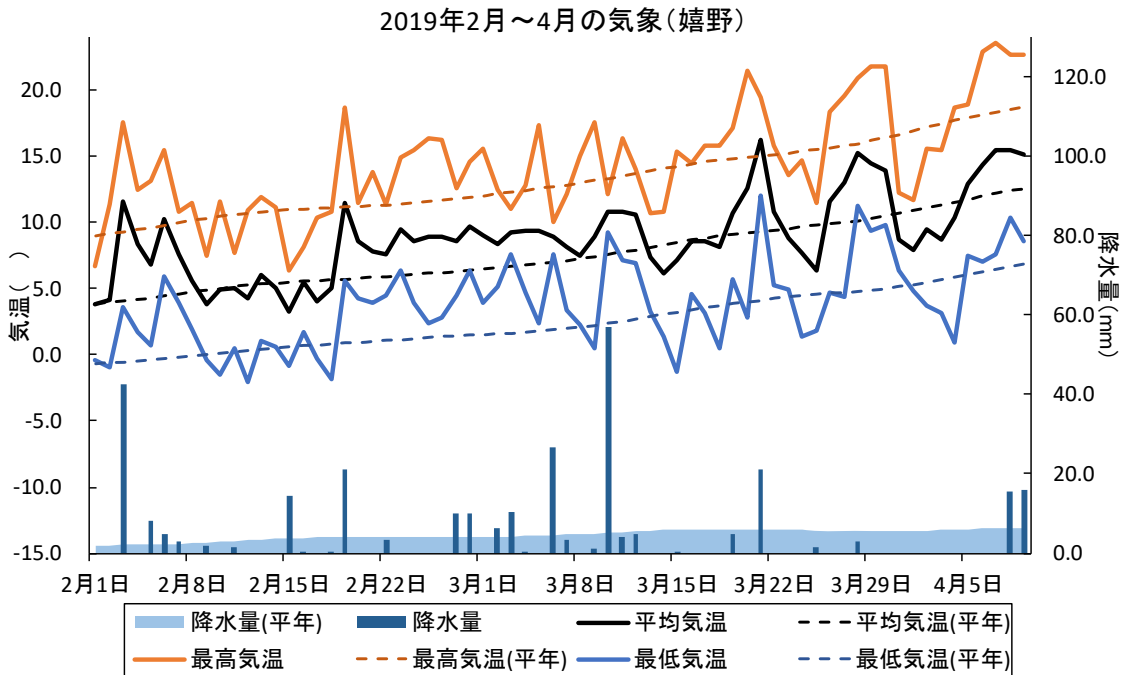


図1 これまでの気象(2019年2月～4月)

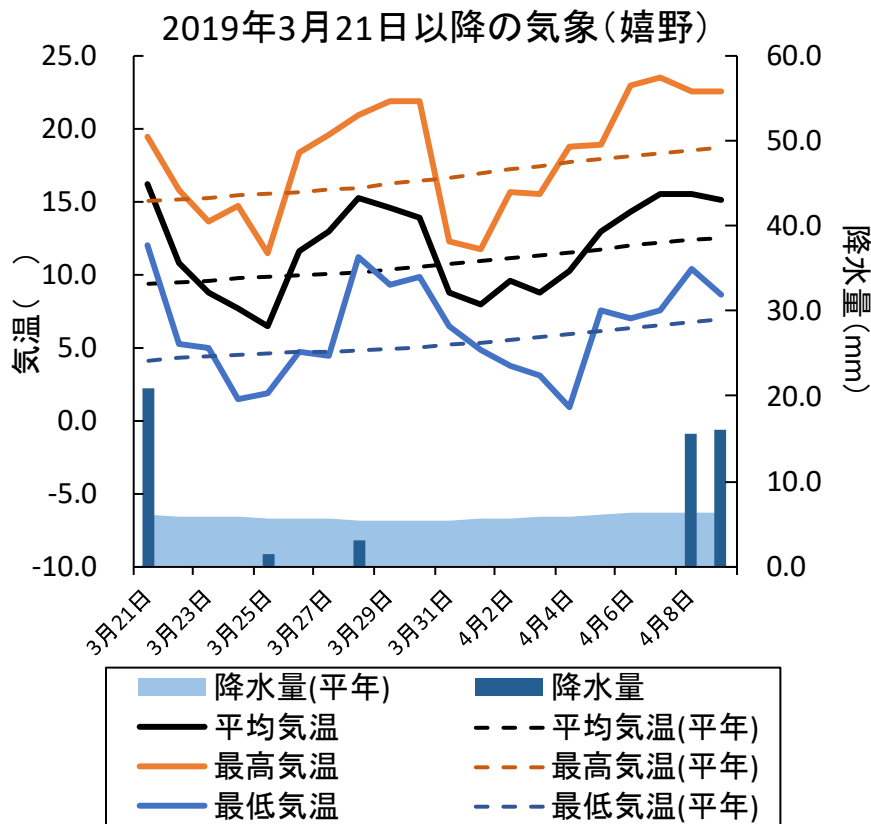


図2 萌芽期前後の気象(3月21日～4月9日)

## 2) 土壌

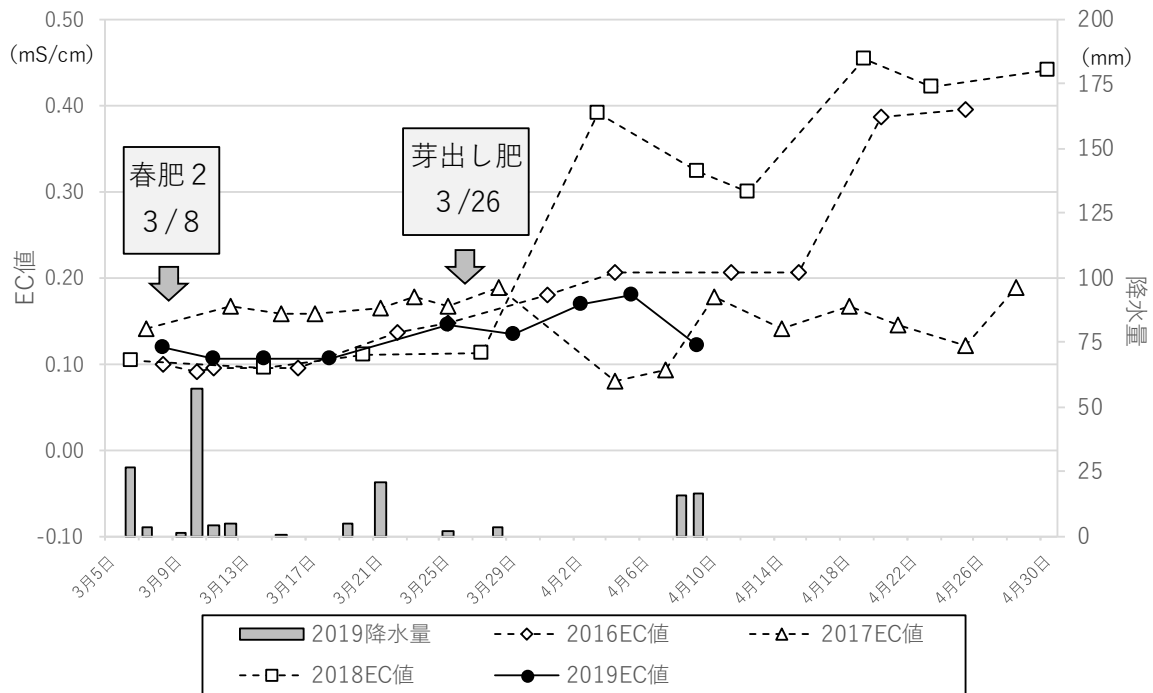


図3 試験場内作況調査園の土壌 EC 値と降水量の推移 (2016-2019 年)

○試験場内の作況調査園の土壌 EC 値 (4 月 9 日測定) は、前年よりも低く推移。

## 3. 今後の栽培管理

1) 芽出し肥の施用等、まだ終わっていない場合は早めの施用・管理を心掛け、管理が遅れないように注意する。分施する場合、最終施肥として速効性肥料 (硫酸など) を摘採 14 日前頃 (2 葉期) に行う。干ばつ時には施肥後の灌水や液肥が効果的である。

※液肥の施用法：窒素含有量 10% 程度の資材を用いて、希釈倍率 400~500 倍で、2 t/10 a を目安に行う。

2) 被覆資材は、遮光率 70% 程度で、穴・汚れ・異臭のないものを使用し、開始時期は 2.5~3.0 葉期を目安にし、期間は 10 日間程度とする。